



平成 26 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 横浜冷凍株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉川 俊雄
(コード番号 2874 東証第1部)
問 合 せ 先 広報 I R 部長 鈴木 大介
電話番号 045-210-0011

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 25 年 11 月 14 日に公表いたしました平成 26 年 9 月期（平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 9 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	130,000	4,500	4,500	2,500	48 円 31 銭
今回修正予想 (B)	141,654	4,105	4,102	1,835	35 円 48 銭
増減額 (B-A)	11,654	△394	△397	△664	
増減率 (%)	9.0	△8.8	△8.8	△26.6	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 9 月期)	118,691	3,729	3,806	2,308	44 円 61 銭

2. 平成 26 年 9 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日） (単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	113,649	4,250	2,500	48 円 31 銭
今回修正予想 (B)	124,213	3,911	1,334	25 円 78 銭
増減額 (B-A)	10,564	△338	△1,165	
増減率 (%)	9.3	△8.0	△46.6	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 9 月期)	104,556	3,720	2,205	42 円 63 銭

3. 修正の理由（連結・個別）

平成 26 年 9 月期通期業績予想につきましては、売上高は水産品・畜産品の相場高の影響により予想を上回りましたが、営業利益、経常利益及び当期純利益は、冷蔵倉庫事業における設備投資による経費負担増と電気料金値上げによる電力コストの上昇や、食品販売事業における相場高の影響で水産品の利益率が低下したことが要因となり、予想数値を下回る見込みとなりました。また、連結子会社の株式評価とのれん代等について減損損失処理を実施したため、当期純利益は予想数値を大きく下回ることとなりました。この結果、通期の業績予想を連結・個別ともに、上記のとおり修正いたしました。

4. 特別損失の計上について

当社グループの連結子会社である株式会社クローバートレーディングが今期末において、台湾における鰻の共同養殖ビジネスからの撤退を決定したことにより、連結業績においてのれん代 277 百万円及び共同事業への長期前払費用 343 百万円、個別業績において同子会社株式評価損 1,067 百万円を特別損失として計上することにいたしました。当該養殖ビジネスは6年前に台湾のパートナーと共同でスタートさせましたが、開始当初より自然災害や疫病等のアクシデントに見舞われ、その後も採算確保が困難な状況が続いておりました。昨今の不安定なシラス価格や当該養殖ビジネスを取り巻く情勢等を鑑み、同子会社の収益体質改善を図るべく今回の決定に至りました。なお、子会社株式評価損 1,067 百万円については資本連結処理において相殺となるため、連結業績に与える影響はございません。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上